



ばんクリニック

BAN CLINIC



ばん先生と

今一度、感染症対策を確実に!

鈴鹿市のみなさん、こんにちは。ばんクリニックの伴と申します。早いもので、もうすぐ 2020 年も終わろうとしています。思えば今年は新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) によって私たちの生活が一変しました。昨年の今頃、誰がこのような状況を予想できたでしょうか？

この原稿を書かせて頂いている 11 月 16 日現在、第 3 波と考えるても良い状況が続いており、全国での新規感染者数が最多を更新し続けています。感染状況にはこれまでと異なる特徴が見られ、第 2 波は若い世代が多かったのに対し、中高年が 20 代、30 代を上回っています。感染場所は、接待を伴ういわゆる「夜の街」の店から、居酒屋などへ移行しており、同僚や知人との飲食で感染し、家庭内に持ち込まれるパターンが増えています。経路不明の感染者も増えており、市中感染の広がりを見せています。これから誰も経験したことのないコロナ以降の冬を迎えます。寒く乾燥する冬期は感染の危険性が高まります。密閉した空間で暖房を効かせて過ごす時間も多くなります。インフルエンザとの同時流行も懸念されています。COVID-19 はただの風邪では決してありません。大切なご家族を守るためにも、今一度、感染症対策 (うがい、手洗い、マスク、厚着、十分な水分摂取、ソーシャルディスタンス、換気、加湿、3 密回避、バランスの良い食事、十分な睡眠) を確実に行って頂くことが重要だと私は思います。